


 歩

「ITC」とは「イン

テンシブ・トレーニング
・コース（集中訓練課
程）」の略。英語集中合
宿を企画している。

米沢隆司代表（23）は
「期間中は日本語を一切
禁止。生活もすべて英語
でこなし、お互いに自信
をつけている」と語る。

合宿は有志の学生や若
手の社会人が準備し、ほ
ぼ年2回、東京近郊で開
催する。毎回、学生を中
心に全国から30人ほどの
参加者が集まり、参加者
の中から有志を募って次
回の委員が生まれる。

プログラムには討論や
スピーチのほか、寸劇な
どのレクリエーションも

ある。参加者の学力は問
わない。教材は手作りだ
が、講師は留学生らネイ
ティブスピーカーが数人が
務める。

起源は昭和43年、故工
ドウイン・ライシャワー
元米駐日大使らの提唱で
設立された財団法人・語

学教育振興会にさかのぼ
る。語学教育振興会が経
済界の支援を受け、プロ
グラム「大学生英語IT

を定期的で開催し
た。その後、振興会が解
散したあと、ITCの終
了を惜しむ有志が60年
春、自主的に現在の組織
を設立した。参加経験者
が、関西地区で別のIT
Cを設立したり、教え子
を対象にしたITCを開
催したりと、最初にでき
た組織を核に活動の輪は
広がっている。

日本語厳禁の集中合宿で英語力養成

いまは短期の語学留学
が気軽にできる時代。

元委員の鹿摩尚子さん
（28）は「高い費用をか
けて留学しても、現地で
知り合った日本人学生と
日本語で話すことが多く
なり、効果は半減してい
る。年2回でもITCに
繰り返し参加すること
で、英語の力は伸びる」
と話す。鹿摩さんらは、
新たに首都圏を中心にし
た卒業生ITCの設立を
計画している。

顧問の神奈川大学の伊
藤克敏教授（英語・心理
言語学）は「学習者同士
という同じ立場で、互い
に伸ばし合っている。自
主的な活動のため学習意
欲も大きい」と強調す
る。

044・856・3

556（米沢代表宅）